

ふれあいのつぼさ



- 『副病院長就任のごあいさつ』
- 『外国人技能実習生へのインタビュー！』
- 『編集後記』

～新型コロナの動向について～

2022年、今年も昨年同様、コロナで明け、コロナで暮れそうな様相を呈してきました。第7波がようやく収束してきたところですが、先週辺り（10月21日現在）から徐々に陽性患者が増えてきており、南半球、特にオーストラリアで猛威をふるったインフルエンザも北上してきて、今年の冬は、コロナの第8波の襲来とのダブルパンチが見込まれています。



インフルエンザのワクチン接種は勿論ですが、コロナのオミクロン株（BA-5）に有効なワクチンも接種可能となり、ワクチン追加接種も5ヶ月間隔から3ヶ月間隔に短縮され、利便性も増してきました。インフルエンザとコロナのワクチン接種間隔は当院のルールで1週間空けなくてはなりません。年末年始を不安無く過ごすためにも、是非ワクチン接種を共有したいものです。



副病院長就任のごあいさつ



副病院長 兼 看護部長 横井 弥生



本年4月に瀏野辺総合病院看護部長に着任し、10月に副病院長に就任いたしました横井と申します。看護師として、そのほとんどを神奈川県内の公的な病院で経験を積み、前所属はJCHO相模野病院でした。この度ご縁があって、瀏野辺総合病院の一員になれましたことに感謝するとともに、瀏野辺総合病院のさらなる発展に尽力してまいりたいと存じます。

さて、時代は少子超高齢社会。医療制度改革が進められる中、医療ニーズや病院を取り巻く環境は常に変化しています。地域医療構想はこれからが本番と言われ、病院機能の明確化、働き方改革、タスク/シフトなど課題は山積みです。

この変化の中で、病院の経営は今まで以上に医療・看護の継続や連携が重要になると考えています。この時代に管理の立場にあるものとして、私が大切にしていることがあります。それは「人を大切にすること」と「チーム力」、そして「柔軟に変化すること」です。組織を作っているのは一人一人のスタッフです。瀏野辺総合病院看護部は「安全と温かな看護」を理念に掲げ、患者さんやご家族の皆様の方に寄り添い、その方にとって最善の看護とは何か、を考え看護を実践しています。院内では医師をはじめとして機能回復に熱意を持って取り組むリハビリスタッフや介護スタッフ、栄養面で健康を支える栄養科等、それぞれの専門職が力を発揮し協働して取り組む仲間がいます。皆様と共に力を合わせ、地域の方々とシームレスに連携し、世の中の変化にも柔軟に患者さんやご家族が安心して入院から退院、地域での療養が継続できるよう取り組んでまいります。

看護部のトップとして副病院長を拝命し、病院の理念が深く浸透した瀏野辺総合病院で患者さんの視点に立った質が高く安全な医療を提供していく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

外国人技能実習生へのインタビュー！



当院では外国人技能実習生の受け入れを今年度より開始いたしました。今回は実習生であるノックさんに、実習してみた感想や日本についての印象をお伺いしてみました！

○ノックさんの簡単な自己紹介と、日本を実習先に選んだ経緯を教えてください。

私はタイから来たノックと申します。タイで約30年日本人のツアーガイドや通訳の仕事をしてきました。

娘は日本の大学で勉強をしていて、日本の企業への就職も決まっています。私は娘の近くに居たいという気持ちが強く、私も移住するために日本の仕事について調べたところ、介護の仕事を知り、興味を持ちました。介護の勉強を1からして日本で働きたいと思い、タイで勉強をして、今回日本で実習することになりました。



○約4カ月実習を経験してみて、感想などありますか？

優しい人じゃないとできない仕事だと実感しています。一緒に仕事をさせて頂いている皆さんも本当に優しい。時に厳しく教育してくれる所もとても勉強になって嬉しいです。

タイ人と日本人の感覚は違うので、少し仕事に慣れてきた部分はありますが、注意しながら業務しています。日本で働いている以上、皆さんのように働きたいと思い、頑張っています。



○タイ人と日本人の感覚が違うというお話がありました。具体的にどんな違いがありますか？

タイ人と比べて日本人は細かいです。確認をととてもしたがりです。タイ人はあまり確認をしません。その他にも報告をする文化がありません。日本ではハウレンソウ（報告・連絡・相談）を覚えてもらうところから始まりました。

○最後に仕事の話ではないのですが、好きな日本料理はありますか？

日本の牛肉が好きです。焼き肉、ステーキ、牛丼など。タイのお肉は固いです。あと日本の魚も好きです。私の住んでいたタイのチェンマイという街は山に囲まれていたので川の魚しかなく、生で食べることもないです。日本のお寿司は本当に美味しい！

◆ 編集後記 ◆

コロナになってから、めっきり旅行に行けなくなり悲しい。

観光して、

美味しいもの食べて、

温泉入って、

飲んで、

歌って、

卓球して、

ゲームして、

などなど、



楽しかったあの頃を思い出し、復活の日を待ちわびている日々。。

家飲みが増えゴロゴロ食っちゃ寝、ストレスから甘い物も口にパクパク、あれよあれよと体重、肝機能、メタボ、数値が急上昇。

年齢的な問題もあるけど絶対的な運動不足！

まずは減酒にトライしデータ改善を図る！（禁酒じゃないよ 😊）

甘いものを止めるという選択肢もなし！

階段を上り下りしているけど、運動不足解消には微妙か・・・。

どなたか何かいい方法があれば教えてくださいー！



むにゅっ

（広報委員 E・T）



〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 3-2-8

JR淵野辺駅(北口)下車徒歩5分(駐車場あり)

* 小田急線ご利用の方は町田駅で横浜線にお乗り換え

* 京王線ご利用の方は橋本駅で横浜線にお乗り換え

※快速は止まりませんので、各駅停車にお乗りください

☎ 連絡先 ☎

淵野辺総合病院 (代表) (042) 754-2222

相模原総合健診センター (代表) (042) 753-3301